

九州歴史資料館職員紹介

岸本 圭

キシモト ケイ/KISHIMOTO Kei

所属／職名

埋蔵文化財調査室 文化財調査班／参事補佐

専門分野

考古学

研究分野

日本考古学

【業務・研究内容】

- 県内各所の埋蔵文化財発掘調査を担当しますが、装飾古墳や近世窯業遺跡など、今後保護を図るべき遺跡の分布調査なども行います。
- 学生時代は古墳時代の埴輪を研究テーマとしていましたが、発掘調査で携わった福岡県を代表する陶器である高取焼や、無形文化財など幅広く関心を持っています。
- より多くの方々に文化財を身近に、魅力的に感じていただけるよう工夫をしていきたいと思います。これまでに、博物館での展示、様々な文化財（史跡名勝天然記念物、民俗文化財、無形文化財）の調査や保護などに従事してきました。

【主要業績】

●主な論文・著作物等

1. 『考古資料大観 埴輪』（共著）小学館、2004年
2. 『古代の福岡』（共著）アクロス福岡文化誌、2009年
3. 「伝三上山下古墳出土獣帯鏡」『東風西声』10、九州国立博物館、2014年

●主な発掘調査・報告書

1. 福岡県教育委員会『内ヶ磯窯跡』1～3、2001年～2003年
2. 福岡県教育委員会『赤坂古墳群』2、2008年
3. 福岡県教育委員会『山門ガラン遺跡 本吉遺跡』、2010年

●主な担当展示

1. 特別展示「古代日本と百済の交流」（九州国立博物館、2015年）
2. 特別展示「黄金のアフガニスタン」（九州国立博物館、2016年）
3. 特別展示「宗像・沖ノ島と大和朝廷」（九州国立博物館、2017年）